

会議名	第3回坂出市まちづくり基本構想審議会
開催日時	平成28年1月8日(金) 午後1時～3時40分
開催場所	坂出市水道局3階大会議室
出席委員	尾崎 健, 新谷 五十雄, 明石 正子, 宮崎 泰徳, 河合 博一, 久保 勝是, 國時 忠能, 宮川 崇, 斉藤 恵子, 赤尾 康造, 木原 光治, 土井 智司, 中橋 恵美子, 大林 貞治, 三野 八重子, 篠原 光一, 山本 淳一
欠席委員	井上 徹, 町川 博俊, 高塚 創

### 会議の経過および発言要旨

#### 1. 開会

##### ●事務局

定刻がまいりましたので、第3回坂出市まちづくり基本構想審議会を開会いたします。  
本日は年始のお忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。  
それでは、開会に当たりまして加藤 副市長よりご挨拶を申し上げます。

(副市長 挨拶)

#### 2. 審議

##### 坂出市まちづくり基本構想素案について

##### ●会長

それでは、次第に基づきまして、審議を進めてまいりたいと存じます。  
まず、坂出市まちづくり基本構想素案について、事務局の説明を求めます。

## ●事務局

(説明)

## ●会長

ただ今の説明について、ご質問・ご意見等はございませんか。

## ●委員

22ページで「持続可能なまちづくりを推進していく」という記載があり、それに  
関連する提案を何点かさせていただきたい。

基本目標3の「健康で安心して暮らせるまちづくり」に関していえば、地域の中小  
業者や農林漁業の果たす役割を項目として示してほしい。これらは地域において、様々  
な商品やサービスなどを提供して雇用を生んでおり、新たな取引や商品拡大につな  
がることで地域経済が循環していくような地域循環型の社会こそ、これからの坂出にと  
って重要なことだと考えられる。

地域循環型の社会をつくるために自治体が様々な産業施策に取り組んだり、これか  
らの自然エネルギーを見直すことで、持続可能な社会を作っていくことにつながると  
思う。

具体的に言えば、41ページで「農林水産業の振興」と「商工業・サービス業の振  
興」とあるが、現状の記述にある役割のみでなく、子どもが犯罪に巻き込まれないよ  
うにすることや高齢者の見守りなど、地域で地域を支えるような役割もあるため、そ  
ういったことも含めて現状果たしている役割を明記してほしい。

また、前回、「中小企業振興条例」を入れてほしいと言ったが、資料1でそれに対  
する回答ももらっているが、制定する旨の記載がないので、ぜひとも盛り込んでもら  
いたい。

地域の商工業者を支援する意味で各地で住宅リフォームの助成制度が行われている  
ため、坂出市でも中小企業を助ける意味でも盛り込んでもらえたらと思う。

## ●事務局

中小企業振興条例の制定については、市議会12月定例会でも議論があった。市と  
してどんなことができるのかを議論しているところである。

そのため、現状ではまちづくり基本構想に入れる段階ではないと考えている。現在は、制定に向け議会と前向きに議論しているところである。

住宅リフォームの助成に関しては、資料1の3ページの10番に記載してあるように、基本構想では具体的な個々の制度を書き込んでいくのではなく、今後10年間の基本的な方針や指針を示すものとして策定するため、ここでは掲載していない。41ページの「6. ～元気とにぎわいのあるまちづくり～」の(1)②で「空き家の適正管理を推進するとともに、移住・定住促進のための有効活用を検討します。」と記載しており、それを受けて個別の制度で検討していくことになるため、ご理解いただきたい。

## ●委員

10ページの「(2) 地方創生への対応」の中で、1億総活躍社会のキーワードが抜けている。11ページの(4)では、「厳しい雇用情勢による、非正規雇用やニートの若者の増加」とあるが、若者だけでなく中高年層にとっても大きな課題になっているため、「若者」の文言はカットしても良いと思う。また、「仕事と子育てなどに配慮した労働環境」とあるが、合わせて「介護」も追加する必要があると思う。

16ページの「(3) 少子高齢社会への対応」の中で「子ども子育て支援」とあるが、「子ども・子育て支援」となるので「・」を追加してほしい。また、子ども・子育て支援に関連して、来年度から坂出市では利用者支援事業がはじまるので、例えば、親同士が支えあえる居場所の充実、相談体制や拠点の充実などを盛り込めば良いのではないか。

また、24ページのまちづくりの基本目標の中で「少子化対策」や「子育て」といったキーワードがないことが気になる。例えば、「3. 健康で安心して暮らせるまちづくり」の中で「子育て」というキーワードを追加してもよいのではないか。

まちづくり基本目標の全般の記述に関して言えることだが、大人目線でしか書かれていない。子どもが育つ、子どもが学ぼうとするといった、子ども自身がどういうふうに育っていきたいかということを踏まえて、子どもの目線の記述がほしいと感じた。

33ページには「(3) 児童福祉・子育て世代への支援の充実」とあるが、その内容の中で、可能であれば「相談体制の充実」や「連携の充実」といった記述を盛り込んでほしい。

## ●委員

資料4に記載のあるJR坂出駅北口駅前広場に関して、今後再整備の取組を進める際は、商工会議所青年部の人にも加わってもらえるようにして、行政のみならず、お店を出店している人や市内の業者を広く交え、具体的に施策をすすめてほしい。

また、「緩衝緑地帯については、一層の有効利用を図る」とあるが、機能を強化する際は、民間の知恵を入れるような方向でぜひ検討してほしい。

44ページのPDCAのサイクルに関し、検証の具体的な予定等があれば教えてほしい。検証の方にも力をいれてほしいと思っている。

## ●事務局

JR坂出駅北口駅前広場の再開発に関しては、にぎわい創出のため、商工会議所青年部とは連携を進めて行きたい。また、緩衝緑地帯については、坂出北インターチェンジのフルインター化に合わせて行っていくことを考えており、緑を生かしながら、フルインター化に合わせてどのように進めていけば良いか検討が必要であるため、民間の声も取り入れていきたい。

PDCAサイクルに関して、44ページの中で示しているが、まちづくり基本構想を頻繁に見直しするというのではなく、連動するそれぞれの個別計画の見直しを進めたいと考えている。

## ●委員

41ページに「(1) 移住・定住の促進」とあるが、島根県海士町の例で、若者がIターンやUターンで帰ってきている状況にある。海士町には自然があって、人間と人間との関係性の豊かさがあることから戻ってきているような状況にある。

このことから、坂出市においても自然をはじめとした環境を大事にすることや地域間のつながりを強化し、自分たちの住んでいる地域を良くしようとする動きを自治体が支援するようにしていくことが大切だと思う。地域や集落を支援するために、集落支援隊をつくるとか、行政が地域を支援するシステムをつくる必要があるのではないか。

また、27ページに記載のある「指定管理者制度」についてお聞きしたい。これは2003年に全国的に始まったと思うが、プールの管理で死亡事故につながったとい

うような例もあり、安全面など含めて、坂出における指定管理者制度の検証や見直しを試みることも必要と思うのだが、その辺りを含めてお聞きしたい。

#### ●事務局

地域の集落やコミュニティに関しては、来年度から新たに共働課を発足し、コミュニティ活動等に関して精力的に活動していく予定である。

また、指定管理者制度に関して、現在は指定管理者制度で運営している施設はない。なお、指定管理者制度も単に経費削減のためにやろうとしているわけではなく、民間の活力を導入し、自由に効率的に運営を進めるために導入するものと捉えている。

#### ●委員

22ページのまちづくりの将来像、キャッチコピーは誰のためのものなのか。市が頑張るものなのか、市民も含めてのものか、その辺りが見えないので、もっと具体的に見えるようなイメージを盛り込むべきではないか。みんなで目指すものにするのか。

また、PDCAサイクルに関しては例えば、5年後に検討するとか、検証についての記述がほしい。

#### ●事務局

キャッチコピーについては、基本構想全般がそうだが、市民と行政の共通の尺度で目標を共有していこうというものである。

PDCAサイクルについて、基本構想は想定していないといたが、例えば5年で見直しするなど、今後検討したいと考えている。

#### ●委員

35ページの「教職員を育てます」との表現について、市が単独でできないこともあると思うが、その点はどうか。

●事務局

教職員に関しては、坂出市が育てるという面もあるため、こういった表現にしている。

●委員

41ページの「さかいでブランド」に関して、農産物の生産体制や加工等を含め、どのような形で取り組んでいるのか。また、市としてブランド化の考え方について具体的にあれば教えてほしい。

●事務局

農林水産業のブランド化に関していえば、まず坂出三金時があるが、ブロッコリーやレタスを中心に集出荷施設も建設中であり、「さかいでブランド」等まとめて支援していきたいと考えている。

●委員

坂出といえは塩づくりであり、塩と坂出三金時等を加工して土産にして、全国に発信していくとともに、塩田と健康づくりなども含めて上手く組み合わせていき、様々な支援していくことが必要なのではないか。名前でブランド化して、あとはみんなで頑張るのではなくて、市として流通や製品化などを見据えた施策があるのか。

●事務局

坂出三金時などをはじめとしたさかいでブランドの認定を数年前から行っているが、これを行う大きな目的は、公に様々なツールを使って情報を発信していけるということがあり、まずは様々な事業者に参加してもらいたいと考えている。

現在は、さかいでブランドの事業所等が協議会で協議し、どのようにして動いていくかの段階であり、市としてバックアップしようと動いている状況である。

●委員

35ページの「(1) 学校教育の充実」のところで、保育・幼児教育の内容が抜けているように思う。また、37ページに「子ども・子育て支援事業計画」がない。

保育・幼児教育の充実というような内容を追加するとともに、保育・幼児教育に関連する職員の資質向上や、0～5歳の子どもも関わるような内容を追加するように再考してほしい。

## ●事務局

広い意味での学校教育という視点で捉え、子ども全体の育ちとして書かせてもらっており、幼児教育に関しては個別計画の中で書かせてもらっている。ご意見いただいた0～5歳児までについては、どのように表現するか考えたい。

## ●委員

個別計画の中で記載されているということについてはわかったが、学校教育という書きぶりだけでは、幼保教育の内容も含めていることについて一般市民はわからないと思うので、検討してほしい。

## ●委員

まちづくり基本構想などの計画については、いかに具体化してスピーディに進めていくかが重要なので、そこを期待している。

キャッチフレーズに関しては、以前の審議会で「要衝」の言葉の表現が固いと話したが、どうしても使いたいとのことで、おそらく市長のこだわりなんだろうと思う。可能であれば、資料3にある「②働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」という言葉がわかりやすいので、これを盛り込むように検討してほしい。③で「進化させる」という表現があるが、受動的な言葉は使わない方が良いと思う。

また、昨日、県議会で高校生議会があり、坂出の高校生の意見を聞いたので、紹介したい。1人目はテーマを「地元を活性化するために」として、商店街の活性化について述べている。

「私の通う坂出商業高校が商店街近くにあるということもあり、みんなの関心が強いのだと思う。実際、坂出の商店街は昔ほどのにぎわいはなく、年々衰退している。現に商店街を訪れる人は地元の方や常連の方ばかりで、若い人を見かけない。私も部活動などで商店街を訪れることはあるが、買い物の目的で向かったことはあまりない。また、商店街の近くにショッピングセンターやスーパーなどができ、更に人が集まら

なくなったように思う。坂出商業の学校行事であるセキレでは、元々は学校の体育館で販売実習を行っていた。商店街の活性化を図るために、開催場所を学校から商店街に移したが、セキレがある2日間だけ人が集まっている状態だ。

これらの問題を解決するために、駅から近いことを生かして学校や会社帰りに立ち寄れるカフェなどの店舗を多く展開し、駅周辺にある各学校があるので、学生が立ち寄れるお店が1つでもあれば、人を呼ぶことができると思う。

また、現在あるスタンプカードをより広めるとともに、いろいろな人からアイデアを募り、新たな活用方法を検討し、商店街を利用すればおいしいと思ってもらえるようにすれば、人が増えるのではないかと。

最後に、親子連れや家族連れを対象としたサービスを積極的に行うとともに、ヒーローショーや親子参加の体験イベントを行うなど、定期的にアクションしていくことで、口コミで情報が広がり、人が呼び込めるのではないかと。地域を活性化するためには、若者と高齢者がともに楽しめるまちづくりをしていくことが今後の課題である。」

2人目は、建築的な視点から「坂出市の商店街を中心とした再開発」を提案したいとしている。

「商店街の南側を高齢世帯、通路を挟んで北側を新婚世帯や家族世帯の生活環境としてリノベーションを行う。本校の生徒もそれらの支援を行いたいと考えている。60歳の方が100歳になっても安心して住める家、生活環境を整備することで、人口減少対策につながり、香川県全体の活性化につながると思う。」

以上のような素晴らしい意見を出してくれているので、ぜひ高校生を交えたミーティングをするべきだと思う。

## ●副会長

商店街に関して、やはり高校生の意見はありがたい。若い人とタイアップしようという話もしている。

商店街の大きな起爆剤としては、3月からはじまる瀬戸内国際芸術祭がある。この時期に商店街に立ち寄ってもらえるような工夫を盛り込むことを企画しており、高校生にもアイデアを募り、生かしていこうと考えている。空き店舗率が50%を超えたところもあるので、何とかしなければいけないという思いから、商工会議所としても若い人の意見を取り入れていきたい。

36ページの「(5) 国際交流の推進」に関し、サウサリート市との交流が28年目になり、子どもたちとの交流は見事に出来ているのだが、経済面での交流が出来ていない。

先日、サウサリートの方がこちらに来られたので、経済連携をやろうという話をした。具体的には坂出のグッズをサウサリートで販売し、サウサリートのグッズを坂出のまちなかで販売することを考えており、このことで企業と企業の交流につながるのではないかと思う。また、坂出の技術を世界に発信することも考えていく必要があると思う。そういったことから文言として、「経済交流」を追加してほしい。

また、駅前の周辺整備はこれから行われると思うが、市が考えている計画の中で、市民団体や関係者が入ってお互いが話し合う必要があると思う。市で考えるだけでは、机上のプランとなってしまうのではないか。

さらに緩衝緑地帯については、これこそが坂出の命を奪っていると思う。そういったことから、緩衝緑地帯を活性化させようと考えており、公園を生かして活性化することを考えている。公園で食事したり、ショッピングしたり、散策しながら楽しむことで活性化させていくべきだと思うので、ディベロッパーと連携していく必要があるのではないか。また、市内に観光資源は多いのだが、駐車場整備や道路整備が必要だと思う。

## ●事務局

高校生に関しては、ぜひ一緒に取り組みを進めたいと考えている。各高校において専門分野もあるので、それらを生かして高校生と共働で進めたい。

駅前の再開発に関しては、まずは関係者を含めて話をする予定であるため、その状況を踏まえて頂ければと思う。緩衝緑地については、坂出北インターチェンジのフルインター化に向けて、あの緑をいかに利用して対応できるかということが重要だと思う。大きな開発は難しいと思うので、できる範囲の中で取り組んでいきたい。

国際交流に関して、経済交流の話があったが、これは市が主体となってやるのではなく、商工会議所等の中で進めてもらえればと思う。

また、資料3のキャッチフレーズについては、可能であれば、本日の審議会の中で意見をもらえればと思う。

## ●委員

資料3のキャッチフレーズに関して、①案で「瀬戸内の要衝都市」とあるが、第1次から第4次総合計画までの内容に近く、一般化されている言葉でまとめられているように思う。②案は市民目線で市民の言葉でまとめられており、③案は主語が抜けているが、市目線の言葉となっている。

それぞれの目線があると思うが、10年間使うことも考えて、市民の人がいつでも言えるようにリズムがあった方が良く思う。

## ●会長

これからの10年は防災が重要だと思う。29ページの「(1) 防災体制の強化・充実」の②で記載されている防災訓練については、「市民参加の防災訓練」という言葉が出てきているのみであり、あとは各種の個別計画に入っていくと思うのだが、学校や企業、施設での防災訓練についても、内容を盛り込んではどうか。

資料3のキャッチフレーズについては、②案が良いと思う。

## ●委員

私も②案が良いと思うが、「住みたい」よりも「暮らしたい」という言葉を使い、順番も「暮らしたい 働きたい 育てたい」というような順にしてはどうか。「子育てしたい」よりも「育てたい」という言葉を使い、子どもを育てる、地域を育てるなどといった広い意味を持たせてはどうか。

## ●委員

キャッチフレーズに関して、第4次総合計画の際は副題もあるので、副題もつけるのであれば、主題と副題をいっしょに検討した方が良くはないか。

## ●事務局

今回は主題のみで検討したいと考えている。

## ●委員

②案がわかりやすいので良いのではないか。

●委員

私の立場から言えば「子育てしたい」という言葉を一番先にもってきたいところだが、内容とリンクしないので、先ほどお話した「育てたい」といった言葉を用いてはどうかと思う。

●委員

44ページのPDCAサイクルについて、実際の運用では個別計画が重要だと思うので、このサイクルを毎年回していくような、個別計画が進化していくという方向にならないと実績が出てこないのではないかと。進捗状況を反映していくことが重要だと思う。

●委員

前回も発言したが、核家族化で子どもが減っている状況にあり、人口が5万人を切るという状況から、結婚の仲人さんを増やすことが必要だと思う。子育て支援も大事だが、子どもを産んでもらう手立てが必要だと思う。私の地域でも結婚していない男性が多い。それらを解消し、結婚できれば、子どもが産まれることにつながる。共働きであっても子どもを産めるようにするとか、親と同居することで2人、3人と子どもを生き育てるなど、もう少しそういった提案も盛り込んでもらえればと思う。

●委員

親と同居といった意見が出たが、坂出市においても子どもの時代から、おじいちゃんやおばあちゃんと住むことの大切さを教育してもらえると良いと思う。健康で長生きするためにも子どもたちと一緒にいる時間をもつことが大切だと思うので、そういった内容を盛り込んでどうか。

また、30ページに交通安全の推進についての記載があるが、香川県は交通マナーが悪いと思う。そういったことも含めて、交通マナーについて追加検討してほしい。地域安全（防犯）についても、子どもが犯罪に巻き込まれないようにするため、みんな子どもを育てるといった内容についても盛り込んでどうかと思う。

### 3. その他

#### ●会長

次に、その他で何かございますか。

#### ●事務局

今後の予定でございます。

本日ご審議いただきました内容について、事務局にて早急に所要の修正を行い、修正後の素案をもって、パブリックコメントを実施してまいりたいと考えております。また、修正後の素案について、さらに市議会へも報告を行い、パブリックコメントの結果および市議会での意見等を踏まえて「坂出市まちづくり基本構想（案）」を取りまとめてまいりたいと考えております。そして、「坂出市まちづくり基本構想（案）」について、再度、当審議会にお示しし、最終的な答申をいただく中、最終案をとりまとめ、市議会3月定例会に議案として提出いたします。

したがって、今後、パブリックコメント終了後の2月の早い時期に第4回審議会を開催いただき、基本構想（案）のご審議をお願いいたしたいと存じます。今の開催予定といたしましては、2月10日（水）の午前10時からを予定しております。

なお、本日のご意見を踏まえた素案の修正については、事務局に一任いただきますようお願いいたします。

### 4. 閉会

#### ●会長

それでは、時間も相当経過しておりますので、本日の審議会はここで終了させていただきます。

なお、次回の審議会につきましては、後日、事務局より案内状を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

以上で、第3回坂出市まちづくり基本構想審議会を終了いたします。ご協力、ありがとうございました。